

「いま知りたい水道」 活用し水道教室開く

中井町

神奈川県中井町は6月21日、町立井ノ口小学校の4年生を対象とした水道教室を実施した。テーマを「水を大切にすることを養い、水を支える人を知る」として、「水道事業経営基盤強化に向けた



支援協定」を締結している横浜ウォーターが、企画・開催を支援した。約30人の児童が参加した水道教室では、横浜

横浜ウォーターが支援した水道教室

ウォーターの社員が講師となり、国の広報資料「いま知りたい水道 水道工事に関わる人たち」を活用して、映像やクイズを交えながら世界や日本の水事情を解説した。また、水道工事の現場監督員や現場作業員の仕事内容を紹介し、「水道を支える人々を知る機会にしてみたら」と呼びかけた。

「外国の水と日本の水はどちらがきれい？」「下水道の水はどうやって処理している？」「町の水道に関わる職員は何人？」などの質問・疑問に対し、中井町上下水道課の職員と横浜ウォーターの社員が回答した。支援を行った横浜ウォーターの白濱智・プロジェクト推進室員は「昨年度に続く教室で、行政・民間のそれぞれの視点で伝えることを心掛けました。これからも続けていきたい」とコメントしている。